

生活者ネット こくぶんじ No.170 2023年11月

発行/国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者/田中由紀
連絡先/〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員 たかせ 高瀬かおる
国分寺市議会議員 こさか 小坂まさ代
国分寺市議会議員 まつおか 松岡まり

増え続ける「学校に行けない、行かない」子どもたちと家庭をどう支援していくのか

国分寺市の現状

2022年度の小中学校における不登校者数が過去最多の29万9,048人(小学生10万5,113人、中学生19万3,936人)となったことが、文部科学省の調査結果から明らかとなりました。その数は前年度から5万4,108人(22.1%)増と10年連続で増加し、過去最多となりました。在籍児童生徒に占める不登校の割合は3.2%(前年度2.6%)、うち学校内外の専門機関に相談していない児童生徒も過去最多の約11万4千人でした。

国分寺市の不登校児童生徒数は、2022年度小学生84名、中学生130名です。第六小学校では、教室に入ることが難しい児童が学校で過ごすことができないようマルチルームを設置したり、第一中学校では心理学専攻の大学院生が学習支援や相談に対応するという支援もあり

りませんが、基本的には、ひかりプラザと本多公民館にある学習スペース「トライルーム」、各校の「サポート教室」での学習支援、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問、インターネットでつながっている児童生徒が若干名いるにとどまっています。市はサポート教室支援員の配置実数を倍増し、対応の充実に努めていくとありますが、一人ひとり異なる状況で増え続けている不登校児童生徒や家庭に対する支援策は、まったく追いついていません。生活者ネットワークでは、子どもの学びを保障するために、全校に設置されたサポート教室の活用や保健室・図書室との連携など、子どもたちを各学校で受け止める体制づくりと、訪問型も含めた支援について要望してきましたが、未だに実現には至っていません。一刻も早い取り組みを要望しました。

また、相談先や支援先について、当事者の保護者の方から「どこにもつながれず、とても不安だ」という声が多く聞かれています。調布市では、不登校の子どもたちの様々なニーズにこたえられるよう、不登校特例校(学びの多様化学校)「はしうち教室」、小学生の居場所「太陽の子」、訪問型支援「みらい」、大学生と遊べる「寺子屋スイッチ」、自宅訪問「メンタルフレンド事業」など多様な取り組みがあり、年に複数回の保護者の集いなども行っています。

子どもたちの声を聞き、寄り添った支援を

生活者ネットワークは8月、市内在住の学校に行きづらさを抱えている小中学生にオンラインアンケートを実施し、10名から回答がありました。自宅まで通っているが、どこか外に行きたいと願っている子が多くいることがわかりました。学校に行けない子どもがそのままいいよと認められ生きるエネルギーを充電する地域の居場所が必要です。

アンケートに寄せられた子どもたちの声

問：いつもいる場所は？ 「自宅」「友達や親戚の家」「プレステ」

自由意見

「ICTを活用して、もっと気軽に先生と話せたらいいな」13歳
「信用できる大人がいて、学校に行っている子がいないところに行きたい」9歳
「みんなと同じことをすることに違和感を感じています。もっと自由に勉強ができたと思います」9歳
「何十人も同じペースで同じ内容を学ぶには無理があると感じ、行きたくなくなった」13歳

問：学校(自分のクラス)の代わりに行きたいところは？

「プレステなど誰でも行ける勉強しなくてよい場所」2名
「フリースクール、トライルームなど学校以外の学びの場」2名
「保健室など学校内の自分のクラス以外の場所」1名
「わからないが、外には出たい」5名

有機フッ素化合物(PFAS)を取り巻く動き

地下水へのPFAS混入が判明して以来、健康不安や対策を求める声があがっています。一刻も早く汚染原因を特定し、これ以上広がらないように除去策を講じる必要があります。

水道水については東京都が管理し、濃度の高い井戸の取水を停止しているため、給水栓水(蛇口)は、2023年4～6月では、北町給水所でPFOS及びPFOAの合計が6ng/L、東恋ヶ窪配水所は定量下限値である5ng/L未満に調整されています。日本の暫定目標値50ng/Lを下回っていますが、この数値が的確なのか検証が必要です。

市は、「むかしの井戸」のPFOS及びPFOAの調査を行っていますが、11月には、新たに真姿の池湧水についても調査を実施するとしています。また、9月議会の一般質問で、東京都では行っている「PFHxS」を新たに調査項目に追加するよう求めたところ、「実施すべき項目と考えている」との答弁がありました。

市議会としては、東京都に対して「有機フッ素化合物(PFAS)の汚染原因究明と対策を求める意見書」を全員賛成で提出し、希望者が血液検査を受けられることや、自治体の実施する地下水の独自調査・検査等に対する財政的支援も求めました。9月議会に出された「有機フッ素化合物(PFAS)汚染の血液検査の実施を求める陳情」については、厚生文教委員会で継続した審査が行われています。

広域に流れる地下水への対策は、自治体レベルで行うには限界があります。国や都が責任をもって予算を確保し早急に対応すべき課題です。
(高瀬かおる)

はじめて議会を傍聴して



●リアルなエンタメ!子育て世代の困り事が、議員の優しく力強い声によって行政に届けられ、少しずつ生活しやすい街になっていく。実際に変化が起きるゲームが、一番大変!だけど一番面白い!

●市議会での質問を傍聴して香害(化学物質過敏症)を知りました。子どもの食事にも深い関心を持つ方が議員であることの安心とすばらしさを感じました。

ひとつこと提案から市や都へ予算要望

国分寺ネットはみなさまからの「ひとつこと提案」から質問や提案につなげたり、市や都へ予算要望を行っています。「ひとつこと提案」はいつでも受け付けています。ここからどうぞ↓



こどもよう



一般用



国分寺ネット活動日誌

- 7月4日(火)元町用水の現地調査/北多摩北部建設事務所と懇談
- 7月11日(火)シャボン玉メッセージ活動に参加
- 7月15日(土)講演会「外交でどうやって平和を実現するのか」参加
- 7月19日(水)介護保険制度の課題について学習会開催/市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 7月27日(木)神宮外苑見学会実施
- 7月30日(日)フォーラム「野川を自然豊かな美しい川に」参加
- 8月1日(火)国立駅北口で朝遊説/財政学習会
- 8月2日(水)西国分寺南口で朝遊説/市内湧水の流量調査に参加
- 8月3日(木)国分寺駅南北で朝遊説/地域協議会3か年計画づくり ワークショップ
- 8月4日(金)学習会「PFAS地下水問題」参加
- 8月7日(月)西国分寺北口で朝遊説/PFASに関する地域ネット連絡会参加
- 8月8日(火)「小学校の先生からお話をきく」開催
- 8月10日(木)東京自立支援センター施設見学
- 8月12日(土)フラワー遊説参加
- 8月17日(木)平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議総会参加
- 8月18日(金)マサーヨがきく「子どもたちとアナログゲーム」開催
- 8月19日(土)市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 8月21日(月)調布市不登校特例校「はしうち教室」視察
- 9月2日(土)新19区市民連合連絡会スタート集会参加
- 9月12日(火)フラワー遊説参加
- 9月19日(火)市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 9月24日(日)図書館の障害者サービス資料体験展示会視察